

日本赤十字社山形県支部現勢

1 沿革

明治20年(1887)10月28日 日本赤十字社山形委員部設立
明治29年(1896)7月1日 日本赤十字社山形支部に改称
昭和28年(1953)2月13日 日本赤十字社山形県支部に改称

2 会員 183,308 (個人 182,717 人、法人 591 法人)

※赤十字有功会 会員数300(法人231、個人69)

3 評議員、代議員及び役員

- 評議員 29 人
- 本社代議員 清野 伸昭(理事)、内藤 文徳
大石 俊樹、井上洋一郎
- 役員 支部長 吉村 美栄子
副支部長 平山 雅之、佐藤 孝弘
監査委員 鈴木 浩幸、五十嵐 雪子、佐藤登美子

4 青少年赤十字

幼稚園、保育園	20 園	1,844 人
小学校(義務教育学校を含む)	88 校	20,300 人
中学校	46 校	11,790 人
高等学校	24 校	1,881 人
特別支援学校	2 校	71 人
計	180 校	35,886 人

5 赤十字ボランティア

地域奉仕団	34 団	2,023 人
青年奉仕団	2 団	108 人
特殊奉仕団	5 団	224 人
計	41 団	2,355 人

※地域奉仕団は22市町村で結成

6 災害救護

常備医療救護班	9班79 人(9自治体病院に編成)
防災ボランティア	67 人
無線局	25 局
救援用等車両	9 台
活動用資器材	救護所用大型テント2張、エアーテント3張 ワンタッチテント6張、NBC災害除染セット1式 野外炊飯器7台、救護用折り畳み寝台40台 発電機5台、蓄電池5台、ラップボン10台等
備蓄救援物資	毛布 2,481枚、緊急セット 804個 安眠セット 778個、タオルケット 2,814枚 学用品セット 266個、食料品(飲料水、レトルト食等) 段ボールベッド140台、避難所用簡易テント98張
火災等被災者援護	42 世帯 88 名(令和5年度)

7 救急法等の普及

	指導員数	受講者数
救急法	120 人	8,436 人
水上安全法	22 人	801 人
雪上安全法	3 人	58 人
幼児安全法	34 人	1,261 人
健康生活支援講習	3 人	8 人
計	182 人	10,564 人

8 国際活動

- 第1ブロック支部共同による国際支援事業
救急法普及支援事業(ラオス)
青少年赤十字海外支援事業(バヌアツ)
気候変動等レジリエンス強化事業(ルワンダ)
気候変動対策事業(アフガニスタン)

9 血液事業

- 血液センター 1
- 出張所(献血ルーム、庄内出張所) 2
- 車両(移動採血車4、献血運搬車10) 14
- 献血者数(令和5年度)
200mL 792 人 400mL 28,763 人
成分献血 12,691 人 計 42,246 人
- 供給本数(200mL換算)(令和5年度)
赤血球製剤 53,850 単位 血漿製剤 17,276 単位
血小板製剤 64,810 単位 計 135,936 単位

10 施設及び職員数 (令和5年4月1日現在)

	施設数	職員数
支部事務局	1	13(2) 人
血液センター	3	80(30) 人

※()内は再雇用・嘱託・非常勤嘱託・パートタイマー職員数で内数

11 会計

《令和5年度当初予算》

一般会計	歳入・歳出	255,135 千円
------	-------	------------

《令和5年度決算》

一般会計	歳入	261,503 千円
	歳出	232,536 千円 差引28,967千円

※特に断りのない統計数字等は令和6年3月31日現在